

公立高等学校の一般入試校内順位の決定方法について

愛知県の公立高等学校では、評定と学力検査の結果をもとに、次のように校内順位をつけ、可否を決定しています。

① 受検者を、まず次の2つのグループに分けます。

A：評定得点と学力検査の合計得点が、ともに定員以内の受検者

B：上記以外の受検者

※ 評定得点は、調査書の9教科の評定の合計を2倍し、90点満点です。

※ 学力検査合計得点は、各教科20点の配点で、5教科で100点満点です。

「A」に属する生徒は、面接や特別検査の結果を考慮しないとすると、合格することになります。

② 次に「B」に属した生徒の校内順位を決めます。この順位の決定には次の3つの方法があり、それぞれの高校であらかじめ決められています。(裏面を参考に)

I 評定得点と学力検査合計得点を単純にたす → 評定と学力検査は同等

II 評定得点を1.5倍して学力検査合計得点にたす → 評定重視

III 学力検査合計得点を1.5倍して評定得点にたす → 学力検査重視

つまり、同じ総合点でも、I、II、IIIのどのパターンの学校を受検したかによって可否の判定が変わってくるということです。

例として、一般入試の定員が200名の高校をモデルにして、次の3人の受検者について考えてみます。

	評定得点(校内順位)	学力検査(校内順位)
a 君	72点(190番)	80点(190番)
b 君	68点(220番)	84点(160番)
c 君	76点(160番)	76点(220番)

<豆知識その1>

私立入試では「受験」、
公立入試では「受検」と
という言葉が使われます。

3人とも合計152点ですが、a君はどちらも定員以内なので「A」に属し、合格の可能性が高いことになります。一方、b君とc君は、評定・学力検査のいずれかの順位が200番内に入っていないため「B」に属し、各高校が定める「校内順位決定方法」に従って可否が判定されることになります。したがって、I、II、IIIのどのタイプの学校を受検したかで、次のような違いが出てきます。

I：b君もc君も総合点が152点となります。

※ 共に順位は同じであるため、面接や特別検査等の結果しだいです。

II：b君は評定得点102点、学力検査84点の総合点186点、

c君は評定得点114点、学力検査76点の総合点190点となります。

※ c君の方が順位が上になり、合格の可能性が高くなります。

III：b君は評定得点68点、学力検査126点の総合点194点、

c君は評定得点76点、学力検査114点の総合点190点となります。

※ b君の方が順位が上になり、合格の可能性が高くなります。

なお、英語科と国際教養科は英語の評定を1.5倍、美術科は美術の評定を1.5倍、音楽科は音楽の評定を1.5倍、スポーツ科学科は保健体育の評定を1.5倍して順位を付けることになっています。また、英語科と国際教養科では、英語の学力検査の結果を1.2倍にする傾斜配点が実施されます。

<豆知識その2>

特別検査とは、特定の学科で実施される表現活動や実技検査のことです。詳しくは、後日の進路だよりでお知らせします。

校内順位の決定方法（抜粋）

尾張普通科

グループ	高校名	方法	グループ	高校名	方法
1 群 A	旭丘	Ⅲ	1 群 B	名古屋西	Ⅲ
	惟信	I		中村	Ⅲ
	昭和	Ⅲ		鳴海	I
	熱田	Ⅲ		天白	Ⅲ
	豊明	I		東郷	I
	日進西	I		日進	Ⅱ
	一宮南	Ⅲ		一宮西	Ⅲ
	犬山南	I		尾北	Ⅲ
	江南	Ⅲ		小牧南	Ⅲ
	小牧	I		丹羽	Ⅲ
	半田東	Ⅲ		半田	Ⅲ
	緑 ※	I		菊里 ※	Ⅲ
共通校 A	名東 ※	Ⅲ	共通校 B	富田 ※	I
	一宮北	Ⅲ		春日井東	Ⅲ
	尾西	Ⅱ		木曽川	Ⅲ
	津島	Ⅲ		犬山	I
	海翔	Ⅱ		阿久比	I
	常滑	Ⅲ		東浦	Ⅱ
2 群 A	内海	Ⅱ	2 群 B グループ	武豊	I
	明和	Ⅲ		瑞陵	Ⅲ
	松蔭	Ⅲ		千種	Ⅲ
	名古屋南	Ⅲ		守山	Ⅱ
	瀬戸西	I		瀬戸	I
	春日井	Ⅲ		春日井南	Ⅲ
	春日井西	I		旭野	I
	高蔵寺	Ⅲ		一宮興道	Ⅲ
	長久手	I		津島東	Ⅲ
	一宮	Ⅲ		西春	Ⅲ
	津島北	I		美和	Ⅲ
	稲沢東	I		五条	Ⅲ
	新川	Ⅲ		横須賀	Ⅲ
	東海南	Ⅲ		大府東	I
	大府	I		桜台 ※	Ⅲ
	向陽 ※	Ⅲ		北 ※	Ⅲ
	山田 ※	I			

専門学科等

	グループ	高校名	方法		グループ	高校名	方法
商業	A	愛知商業	I	家庭	A	一宮	I
		緑丘商業	I			大府	I
		一宮商業	I			瑞陵	Ⅲ
		津島北	I		B	古知野	Ⅱ
		半田商業	Ⅱ			佐屋	Ⅱ
		若宮商業 ※	Ⅱ			桃陵	I
	B	中川商業	I	福祉	A	桜台 ※	I
		瀬戸窯業	I			海翔	Ⅱ
		春日井商業	I			高浜	Ⅱ
		木曽川	I		B	宝陵	I
		犬山	I			古知野	Ⅱ
		古知野	Ⅱ	総合学科	A	瀬戸北	I
工業	A	東海商業	I			豊田東	I
		名古屋商業 ※	Ⅲ			蒲郡	I
		名南工業	I			西陵 ※	I
		春日井工業	I		B	南陽	Ⅱ
		一宮工業	I			杏和	I
		起工業	I			岩倉総合	I
	B	常滑	I			知多翔洋	I
		工芸 ※	I			鶴城丘	Ⅲ
農業	A	愛知工業	I	美術	A	旭丘	I
		瀬戸窯業	I		A	明和	I
		小牧工業	I		B	菊里 ※	Ⅲ
		佐織工業	I	英語	A	御津	I
		半田工業	Ⅱ			名東 ※	Ⅲ
		工業 ※	I		B	尾北	Ⅲ
	B	稲沢	Ⅱ			三谷水産	Ⅱ
		半田農業	I	水産	B	三好	Ⅱ
		安城農林	Ⅱ		B	千種	Ⅲ
		佐屋	Ⅱ	衛生看護	A	宝陵	I
農業	B	猿投農林	I		B	桃陵	I

学校名の後に「※」が付いているのは、名古屋市立の学校です。

表の「方法」は、以下の決定方法の区別を表しています。

- I 評定と学力検査を同等に扱う学校（評定：学力＝1：1）
- Ⅱ 評定重視の学校（評定：学力＝3：2）
- Ⅲ 学力重視の学校（評定：学力＝2：3）